

「地域公共交通確保維持対策事業」概要

(地方創生臨時交付金(2次)活用事業)

資料5

①アプリを活用した感染拡大防止対策事業

趣旨

●地域公共交通活性化協議会にて導入しているMaaSアプリ「とべナビ」を活用し、車内混雑状況をリアルタイムに提供することで、新型コロナ感染拡大を防止するとともに、コミバスを引き続き安心して利用していただくことを目的とする。

内容

●MaaSアプリ「とべナビ」の車載器(タブレット)アプリ及びユーザー側アプリを改修し、バス乗務員が車載器で「空き」「やや混雑」「混雑」等を選択することで、ユーザー側利用画面にその状況がリアルタイムに反映される機能を追加する。

予算

●5,060千円(地域公共交通活性化協議会への負担金)

【※事業実施について】

現在、MaaS事業でアプリ開発を行っている「㈱メディアマジック」に改修・実装を委託。

なお、今後募集開始予定の「地域公共交通における感染拡大防止対策補助金(下段Mが申請)」を活用予定であり、採択された場合、実施主体は下段Mとなり、協議会の費用負担は1/2(2,530千円)となる。

補助採択後事業費内訳：総事業費5,060千円

町→協議会→下段M
2,530千円

国補助金→下段M
2,530千円

(補助申請はバス事業者限定)

②一般旅客自動車運送事業者感染予防対策支援事業

趣旨

●新型コロナの蔓延により著しく利用が減少した貸切バス及びタクシー等事業者に対し、感染防止対策に向けた必要な支援を行う。

対象

●道路運送法の許可を受け町内に本社を置く次の法人

①一般貸切旅客自動車運送事業者【貸切バス】

②一般乗用旅客自動車運送事業者(※)【タクシー・ハイヤー】

※福祉輸送事業限定を除く

内容

●感染防止対策(※)を実施している対象者に対し、予算の範囲内において、1法人あたり基礎額30万円+車両1台につき3万円を支援する。

※感染防止対策：以下の指針に基づき実施する取組み

▽バス・タクシーにおける新型コロナウイルス感染症感染防止対策ガイドライン(第3版)

(一般社団法人北海道バス協会・一般社団法人北海道ハイヤー協会
・一般社団法人全国個人タクシー協会北海道支部)

予算

●2,160千円(各事業者へ直接給付)

【内訳】

・対象法人 4社×300,000円=1,200,000円

・対象車両 32台×30,000円=960,000円